



# 銀座の言語景観6

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座のアンテナショップにおける言語景観
- チェーン店における言語表記の違い
- 銀座のラーメン店における言語景観について
- 臨時的掲示からみた現在の銀座
- デパートから見る銀座の今
- 海外に向けた"和"の発信の違い

## 第5章 臨時的掲示からみた現在の銀座

### 5.2. 銀座の臨時的掲示物の傾向 (池田類子)

#### 5.2.1. 臨時的掲示物がある店舗の数及びその掲示数

	店舗数	掲示数
ファッション	19	39
飲食	13	33
大型商業施設	8	28
カメラ	2	18
銀行	4	28
パチンコ	2	35
コンビニ	1	10
商業ビル	1	2
その他	21	59
合計	71	252

表1 掲示店舗と掲示数

この表から、1店舗あたりの臨時的掲示数は約3.5 (個) となる。

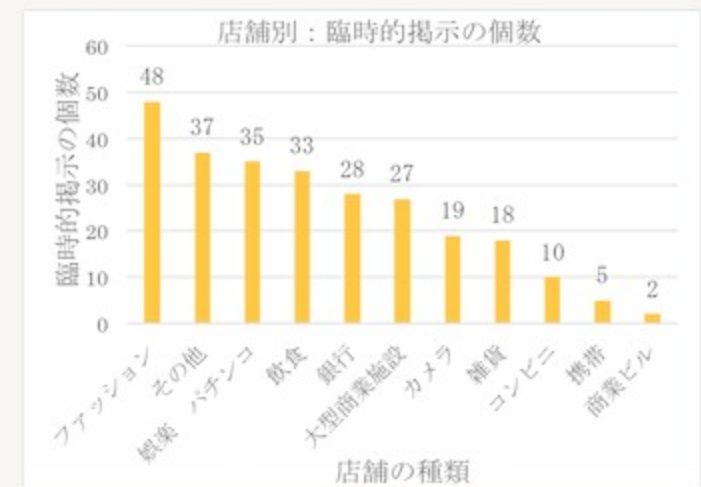
#### 5.2.2. 1店舗あたりの臨時的掲示数と平均との差

	1店舗あたり (個)	平均 (3.5個) との差
パチンコ	17.5	14
コンビニ	10	6.5
カメラ	9	5.5
銀行	7	3.5
大型商業施設	3.5	0
その他	2.8	-0.7
飲食	2.5	-1
ファッション	2.1	-1.4
商業ビル	2	-1.5

表2 掲示数と平均との差

この表から、パチンコ店が平均 (1店舗あたり3.5個) を大きく上回ることが分かる。

店舗数の多かったファッション店における臨時的掲示は、平均を下回る結果となった。



グラフ1 店舗別掲示数



#### 5.1. 臨時的掲示調査概要

#### 5.3. 使用言語からみた晴海通りと中央通りの違い (越川香奈)

#### 5.4. 掲示タイプ・メッセージ内容 (長須由果)